

青木村消防団広報

KODAMA

発行所／青木村消防団 〒386-1601 長野県小県郡青木村大字田沢111 TEL.0268-49-0111

No. 2

発行・平成18年8月1日



第3位の表彰を受ける橋詰ラッパ長



個人の部／十屋洋和君



青木部



第三分団 A



村松部

ラッパ吹奏

団体の部 3位！
個人の部 土屋洋和君 3位！

7月9日(日)青木村総合運動公園と青木小学校校庭で上小地区大會が開催され全団員の準備、運営補助により大会が無事終了しました。

績を収めました。ポンプ操法の部は僅差の結果ポンプ車操法の部第四分団青木部7位、小型ポンプ操法の部第一分団村松部10位、第三分団A13位と健闘しました。皆様のご声援ありがとうございました。

6月25日(日)村総合グランドで開催された結果は次のとおりです。
朝に夕にの練習、ご家族、地域の皆さんのご理解とご協力ありがとうございました。

6月25日(日)村総合グランドで開催された結果は次のとおりです。
朝に夕にの練習、ご家族、地域の皆さんのご理解とご協力ありがとうございました。

第四十三回
青木村消防ポンプ操法大会
第二十七回ラッパ吹奏大会
開催される

個人の部

優勝

第四分団 青木部

準優勝

土屋洋和君
第二分団 南田沢部

第3位

西戸隆司君
第四分団 青木部

努力賞

若林勝則君
第四分団 青木部

仲間

ポンプ操作法優勝チーム

第一分団 村松部

指揮者 佐藤公孝



村松部は、選手は二年、指揮者は一年と決まっている。実は、

私は今年二年目の指揮者であった。昨年は、自分のミスからミスが連発し、周りから優勝候補といわれながら涙をのんだ。

部のみんなの理解、協力もあり今年リベンジのチャンスをもらえた。選手は総入替、一年目の選手は最初自分がそうだったようになぜこんな苦労をするのだろう」と思つたに違いない。それでも練習を重ねるにつれ目つきが変わつてくるのがわかる。

きっとこの選手たちもポンプ操法の魅力にとりつかれたのだろう。

私にとってこの一年は、とても長かった。昨年の選手も新人に熱血指導、区役員をはじめ区民の皆さんとの協力、区、部、一丸となつての大会、そして優勝。

今は青木大会で涙をのんだチームのためにも精一杯練習の日々、

そして上小大会に向け怖いものは何もない。つらいときも、うれしい時も共に涙してくれる村松部の仲間がいるからだ。

私は長かった。昨年の選手も新人に熱血指導、区役員をはじめ区民の皆さんとの協力、区、部、一丸となつての大会、そして優勝。

今は青木大会で涙をのんだチームのためにも精一杯練習の日々、

でした。吹いてみると予想以上に難しく大変でした。先輩団員に指導していただき徐々に音が出るようになりました。また指導していただいたのはラッパのことだけではなく、服装や規律なども教えていただきました。

大会当日、私は団体と個人に出場しました。緊張してしまい思つたように音が出せなくて残念でした。

まだこれからさき続けていく上で大会での失敗や学べたことなどよい体験ができたと思いま

また、その学べたことなどを改善し今後の自分の糧にできたらと思います。

最高の仲間達が集まつたラッパ班、上小大会でもきっと素晴らしい吹奏をしてくれると信じています。

去る六月二十五日、第二十七回青木村消防ラッパ吹奏大会が開催されました。

今年度はラッパ班員二十五名、指揮者八名の計三十三名が、団体と個人の部にそれぞれ出場し、素晴らしい吹奏でレベルの高い大会となりました。

五月十六日に始まつた練習初日から、出席率も良く経験者、初心者がそれぞれの目標に向かって熱心に取組んでいました。

みんな仕事や家庭または友人と付合いなど、それぞれ事情がある中で、朝に夕にと練習に励む姿に感動し、選手全員を上小大会に出場させてあげたい、そんな気持ちでいっぱいでした。

大会終了後、個人二名、団体十四名、指揮者三名を上小大会の選抜メンバーとして選出し新たな練習がスタートしました。

惜しくもメンバーに入れなかつたラッパ班員、指揮者達もサポートとして練習に参加、ラッパ班一丸となり、地元青木村で開催される上小大会での上位入賞という大きな目標に向かつて練習に励んでいます。



第四分団 殿戸部

小林 洋

新入団員から

ラッパ吹奏大会を終えて

ラッパ長 橋詰 法彦

今年消防団に入団しました。入団してから消防団の大会があることを初めて知りました。私は、入団しラッパ班に配属になりました。そして、大会に向けての練習が始まりました。しかし、私は吹奏楽などをやつた経験はなく、不安でいっぱい



あなたの力をぜひ!
青木村消防団員募集のおしらせ

●消防団とは……

消防団は、昔から「自分たちの地域は、自分たちで守る」という精神のもと地域社会に奉仕しています。

消防団は、地域防災のかなめとして各種災害から人命と財産を守り続けた歴史があり、地域住民から深い信頼を得ております。

村民を災害から守るために、勇気あるあなたの力を!

●問合せ応募方法

入団を希望される方又は関心がある方は……。

地元地区の消防団役員又は役場総務課消防団事務局までお気軽にご相談ください。

青木村役場 総務課
総務企画係 消防団事務局
電話 / 49-0111(代)
有線 / 2024
E-mail : somu@vill.aoki.nagano.jp